

日 中 活 動 部 会 報 告

1 目 的 地域の養護学校から卒業する方が通う日中活動の場所が不足している現状がみられることから、専門部会を発足し原因追求や打開策を見つけ、少しでも課題解決に導く。

2 開催日及び内容（毎月第2火曜日、13時30分～）

開催日	内容
1回 4月10日	部会委員、事務局異動挨拶、日中活動系事業所へのアンケート内容の検討
2回 5月 8日	日中活動系事業所アンケート結果途中経過の報告、質の部分についての協議
3回 6月12日	日中活動系事業所アンケート結果検証、定例会報告への準備
4回 7月10日	定例会議の報告、春日台養護学校卒業生推計とアンケート結果の比較、就労支援の現状について
5回 8月14日	養護学校卒業生の推計とアンケート結果の検証経過、質の在り方について
6回 9月11日	養護学校卒業生の推計とアンケート結果の検証から見えることを協議、第5次春日井市総合計画の紹介

3 検証結果

検証カテゴリー	地区別	今後利用可能枠数	希望生徒数3年間	今後の予測事態
A 創作介護系 事業所	全体	25～26+数名	26	1名不足
	(東部)	(14+数名)	(14)	(0)
	(西部)	(11～12)	(12)	(1)
B作業系事業所	全体	49	43	+6名
	(東部)	(32)	(17)	(15)
	(西部)	(17)	(26)	(-9)

4 取り組みからみえること

今年度についても、昨年度と同様な方法で日中活動系事業所の現況調査と地域の養護学校卒業生の推計を比較し過不足について検証、分析を行った。単純に双方の数字を比較すれば、今後日中活動の場が不足する結果になるが、実際の現状をさらに部会で検証していくと、いろんな課題が見えてきています。

- (1) 生活介護事業など、障がい重い方が通える場所に余裕はなく、希望どおりの事業所へ通うことができない現状がある。
- (2) 今年度に入り新規に事業所が増えているが、利用者数が伸びていない。その数字を検証に入れて比較しても現実的ではないのではないかと。
- (3) 求職者数が多い割に、就労移行支援事業所の利用が伸びてない。近隣地域で就労継続支援A型事業所の増加がみられる。
養護学校から就労移行支援事業所に繋ぐ利用者が少ない。

◎ 以上の見解から、11月を目標に日中活動系事業所の施設長会議を開催し問題を共有する予定。市内の事業所としての質を向上するため、どのような研修会を設けていくかも意見交換をしていく予定です。